

12 テトラック法尻ブロック

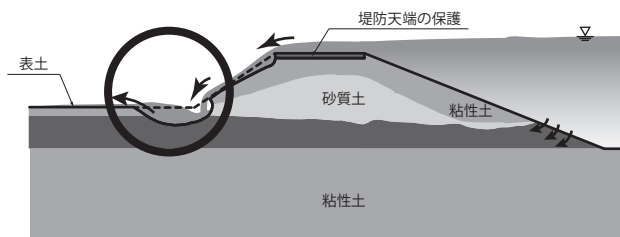
NETIS登録番号
SK-170003-A



概要

●堤防裏法尻の補強

裏法尻をブロックで補強するため、越水した場合には深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばすことができます。

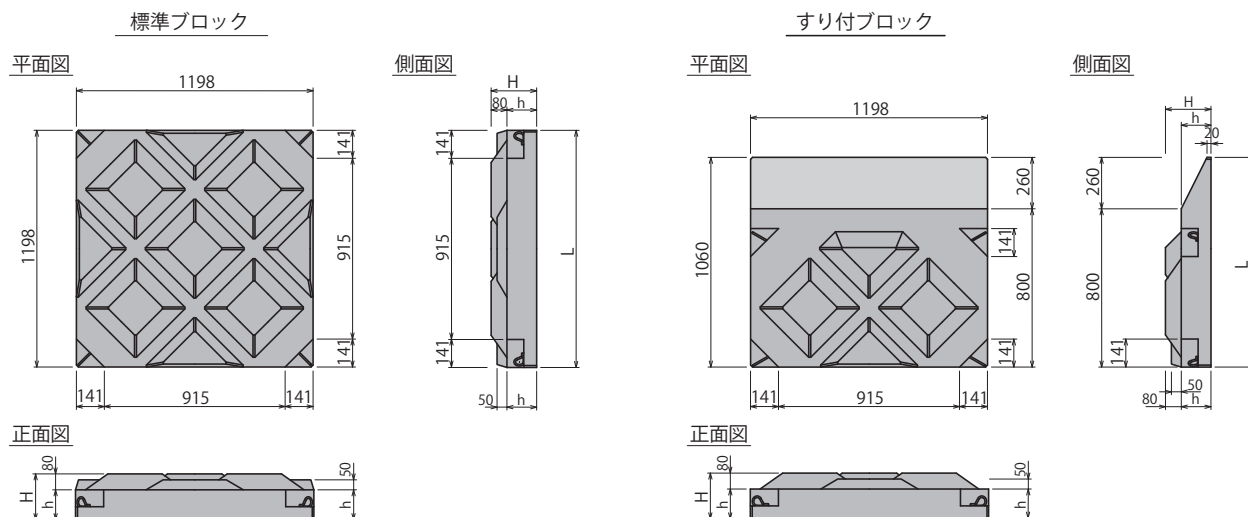


特長

1. 堤防上に設置する場合（※参考断面図）、突起部以外を堤防内に設置する場合（※参考断面図）、また、用地境界の位置に対応した断面が設計可能です。
2. 上端部および平場部端部にすり付けブロックを使用することで、越流水による上端部の堤防侵食を低減し、平場部端部の流水作用による鉛直方向の侵食を抑えることができます。
3. 透水係数 $1.0 \times 10^{-1} \text{ cm/s}$ 以上のポーラスコンクリートであるため、雨水や浸透水の滞留を防ぐことができ、碎石層および水抜き穴は必要ありません。
4. 堤防法尻基礎ブロックやすり付けブロックを使用することで、現場打ちコンクリートの打設が不要となり、延長方向に進みながら施工が可能で工期が短縮できます。
5. 表面は菱形突起（80mm・50mm）とし、越流水の流速を低減することができます。

参考製品図

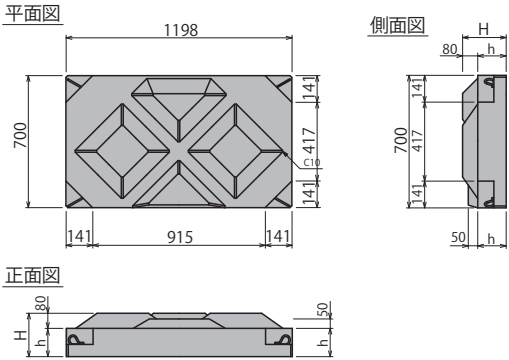
テトラック法尻ブロック 単体図



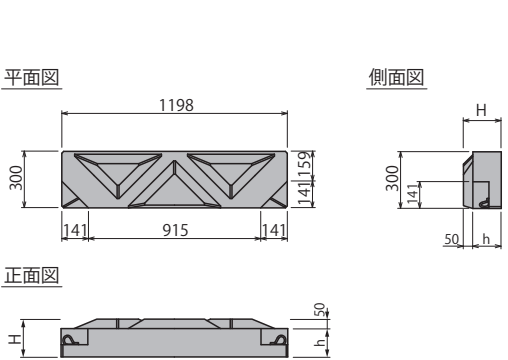
呼 名	単 価 (円)	体 積	参考質量 (kg)	寸 法 (mm)			
				H	h	L	B
標準ブロック H210型	別途見積	0.225	450	210	130	1198	1198
標準ブロック H230型	〃	0.253	506	230	150	1198	1198
すり付ブロック H210型	〃	0.159	318	210	130	1000	1198
すり付ブロック H230型	〃	0.187	374	230	150	1060	1198

参考製品図

平場Aブロック

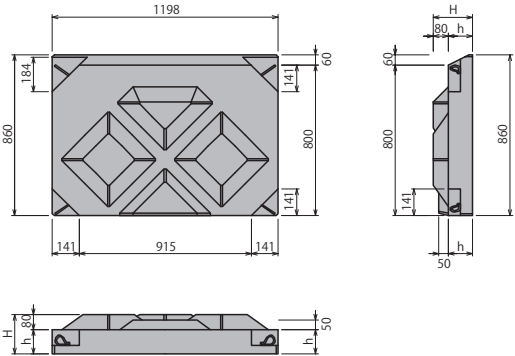


平場Bブロック

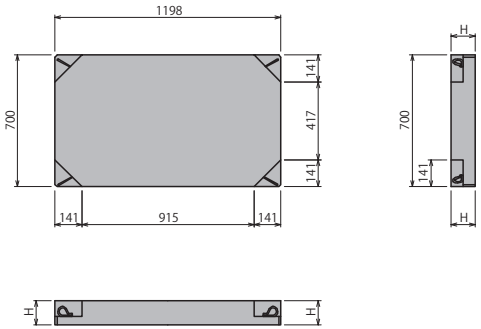


呼 名	単 価 (円)	体 積	参考質量 (kg)	寸 法 (mm)			
				H	h	L	B
平場Aブロック H210型	別途見積	0.126	252	210	130	700	1198
平場Aブロック H230型	〃	0.142	284	230	150	700	1198
平場Bブロック H210型	〃	0.051	102	180	130	1000	1198
平場Bブロック H230型	〃	0.058	116	200	150	1060	1198

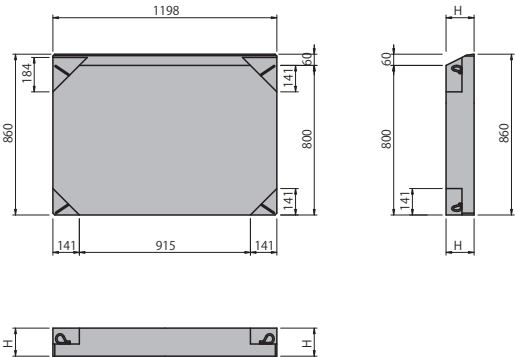
平場Cブロック



平場Dブロック



平場Eブロック

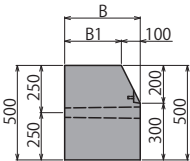


呼 名	単 価 (円)	体 積	参考質量 (kg)	寸 法 (mm)			
				H	h	L	B
平場Cブロック H210型	別途見積	0.146	292	210	130	855	1198
平場Cブロック H230型	〃	0.166	332	230	150	855	1198
平場Dブロック H210型	〃	0.106	212	130	—	700	1198
平場Dブロック H230型	〃	0.122	244	150	—	700	1198
平場Eブロック H210型	〃	0.126	252	130	—	855	1198
平場Eブロック H230型	〃	0.146	292	150	—	855	1198

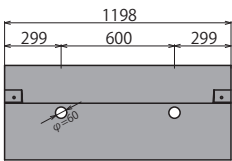
参考製品図

堤防法尻基礎ブロック 単体図

側面図



正面図

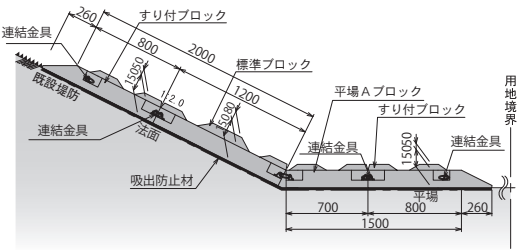


呼 名	単 価 (円)	体 積	参考質量 (kg)	寸 法 (mm)	
				H	B
400型	別途見積	0.225	483	400	300
500型	〃	0.285	612	500	400

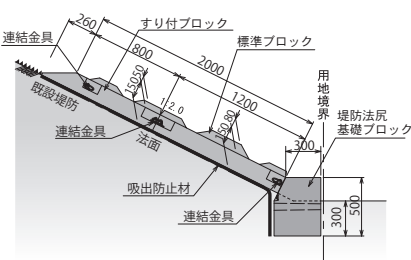
参考断面図

堤防上に設置 ※平場寸法はブロック組合せで変更が可能です。

平場が確保できる場合

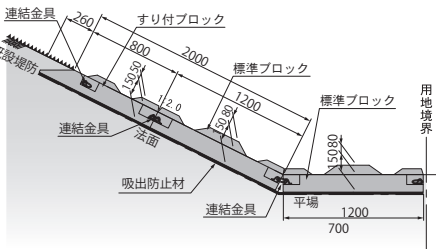


平場が確保できない場合

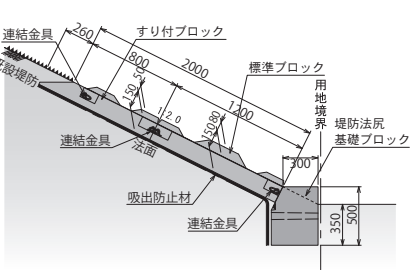


突起部以外を堤防内に設置

平場が確保できる場合

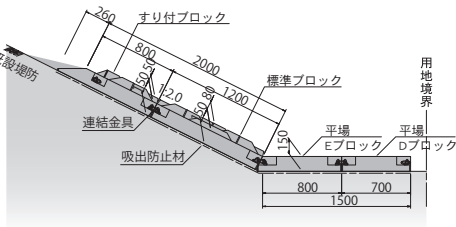


平場が確保できない場合

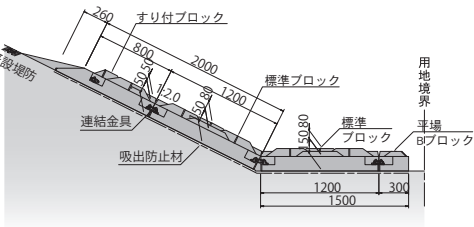


堤防外に設置

平場Dブロック+平場Eブロック

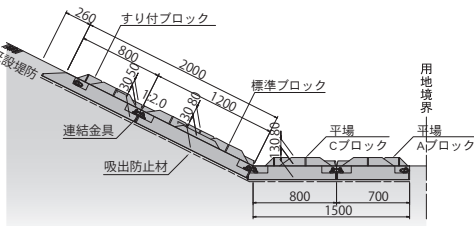


標準ブロック+平場Bブロック



堤防内に設置

平場Cブロック+平場Aブロック



基礎ブロック

